



令和7年 2月7日
富士市立伝法小学校
校 長 四條 秀樹

新しい年が始まり、1か月が経ちました。令和6年度も終わりに向かい、一日一日が疾風のごとく過ぎ去っていきます。保護者の皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
さて、12月には「教育に関するアンケート(保護者回答)」にご協力くださり、ありがとうございます。前期と比べ子どもたちがどのように変化したか、本データを分析し、来年度に向けての教育活動に生かしていきたいと考えております。集約結果をお配りいたしますので、ご家庭でもご一読ください。お子様と一緒に目を通してながら1年間の成長を振り返り、来年度につながる励ましをしていただけますようお願いいたします。

令和6年度 教育に関わるアンケート結果(後期)

肯定・・・評価A(そう思う)＋評価B(どちらかと言えばそう思う)分析 ○：満足(80%以上肯定) 否定・・・評価C(あまりそう思わない)＋評価D(そう思わない) ▼：課題(50%以上が否定)					
番号	評 価 内 容 (カッコ内は教職員)	対象	R6肯定割合 (前期)	R6肯定割合 (後期)	分析
1	子どもたちは、楽しく学校生活を送っている。	児童	96%	96%	○
		保護者	98%	97%	○
		教職員	100%	100%	○
2	子どもたちは、伝法小学校と吉原小学校、吉原第一中学校は、「あこがれ・チャレンジ・笑顔」という同じ学校教育目標になっていることを知っている。(目標を意識して生活している。)	児童	85%	94%	○
		保護者	94%	95%	○
		教職員	97%	97%	○
3	子どもたちは、重点目標「みんな 笑顔」を意識して学校生活を送っている。 (「みんな笑顔」に向けて教育活動に取り組んでいる。)	児童	93%	96%	○
		保護者	87%	89%	○
		教職員	97%	100%	○
4	子どもたちは、自分が住んでいる地域が好きである。家庭で、地域のよさを話題にすることがある。	児童	97%	98%	○
		保護者	50%	50%	▼
		教職員	100%	97%	○
5	地域の人や、学校のために活動をしていることで、学びや学校生活がよりよくなっている。(地域の人・もの・社会と関わりを深めている。)	児童	97%	97%	○
		保護者	97%	97%	○
		教職員	97%	97%	○
6	子どもたちは、だれにでも進んであいさつができています。	児童	89%	92%	○
		保護者	85%	86%	○
		教職員	84%	86%	○
7	子どもたちは、「ほかほか言葉」を使って話している。	児童	90%	91%	○
		保護者	81%	82%	○
		教職員	87%	81%	○
8	子どもたちは、悩みや困ったことなどを相談できる人がいる。(悩みや困ったこと相談している。)	児童	87%	89%	○
		保護者	95%	95%	○
		教職員	97%	94%	○
9	子どもたちは、生活が楽しくなるように工夫して生活している。	児童	92%	92%	○
		保護者	93%	92%	○
		教職員	97%	94%	○
10	子どもたちは、自分がされて嫌なことを友達にしないで生活している。	児童	90%	94%	○
		保護者	89%	93%	○
		教職員	90%	94%	○
11	自分たちの学校がきれいになるよう、進んで掃除をしている。家庭で、自分が使った場所をきれいにしている。	児童	95%	94%	○
		保護者	60%	59%	
		教職員	84%	89%	○
12	子どもたちは、自分にはよいところがあると思っている。(よさを認め励ますために意図的な関わりや場面を設定している。)	児童	86%	86%	○
		保護者	92%	94%	○
		教職員	100%	100%	○
13	授業が楽しい。(子どもたちは、楽しく行っている。)	児童	93%	94%	○
		保護者	93%	92%	○
		教職員	97%	100%	○
14	子どもたちは、授業(学習したこと)が分かっている。	児童	92%	95%	○
		保護者	87%	87%	○
		教職員	94%	97%	○
15	子どもたちは、自分の考えを友達にわかりやすく話したり、友達の考えを最後まで聞いたりしている。(自分の考えをわかりやすく話したり、話を最後まで聞いたりする力が付いてきている。)	児童	94%	93%	○
		保護者	77%	77%	
		教職員	81%	91%	○
16	子どもたちは、チャレンジノートなど、自分から進んで学習に取り組んでいる。家庭で学習する「宿題を含む」習慣がある。(家庭で学習する習慣が身に付いている。)	児童	85%	87%	○
		保護者	85%	87%	○
		教職員	90%	94%	○
17	子どもたちは、分からないことや疑問に思ったことを、友達や先生に訊いている。	児童	85%	88%	○
		保護者	78%	80%	○
		教職員	94%	92%	○
18	子どもたちは、学校・家庭でタブレットやパソコンなどを使って学習している。(ICT機器を活用して授業を行っている。)	児童	84%	88%	○
		保護者	71%	77%	
		教職員	87%	91%	○
19	子どもたちは、めあてをもって運動に取り組んでいる。	児童	90%	90%	○
		保護者	71%	73%	
		教職員	87%	91%	○

肯定・・・評価A(そう思う)+評価B(どちらかと言えばそう思う) 否定・・・評価C(あまりそう思わない)+評価D(そう思わない)		分析○:満足(80%以上肯定) ▼:課題(50%以上が否定)			
20	子どもたちは、毎日「早寝・早起き・朝ご飯」ができています。家庭で「早寝・早起き・朝ご飯」を意識した生活を送っている。(規則正しい生活習慣を身に付けられるよう、取り組んでいる。)	児童	82%	78%	
		保護者	86%	85%	○
		教職員	80%	94%	○
21	子どもたちは、毎日の給食を好き嫌いしないで食べている。家庭で食事のとき、好き嫌いをせず食べている。(苦手な食べ物でも、少しは食べられるようになったり、食の大切さを感じたりしている。)	児童	86%	87%	○
		保護者	71%	73%	
		教職員	87%	94%	○
22	子どもたちは、きまりを守ってけがをしないよう安全に生活している。	児童	92%	95%	○
		保護者	93%	95%	○
		教職員	97%	86%	
23	子どもたちは、もしものときに自分の命を守るために考えて行動することができる。	児童	96%	97%	○
		保護者	86%	89%	○
		教職員	87%	100%	○

集計結果について(考察)

よいあらわれ

◎学校生活について 設問3・6・7・10

前期に比べ、進んであいさつをしている割合が高くなりました。児童会スローガン「あいさつの花火で笑顔あふれる学校」に向けて、子どもたちが様々な活動を行っています。朝のあいさつ運動やあいさつの歌を作って放送で流すなど、子どもたち自身が考え、学校をよりよくしていこうという取組の成果が出ていると感じます。また、「みんな 笑顔」を意識して生活できている割合も高くなっています。「みんなが笑顔になるためにはどうしたらよいか」と考え、自分だけでなく友達や学校全体のことを考える姿も見られます。その思いが、「ほかほか言葉を使っていますか」や「自分がされて嫌な事を人にしない」の割合が上がっていることにも影響していると思います。それぞれの項目が関わり合って好循環となっていると考えられるので、引き続き「みんな 笑顔」の実現に向けて支援していきます。



◎食育について 設問21

今年度、伝法小学校は富士市の食育推進校に選ばれ、様々な食育事業を行ってきました。各学年で出前講座や調理実習などがあり、子どもたちは真剣に話を聞いたり、嬉しそうに試食をしたりして、食への関心を高めてきました。「キャベツの出前授業」を行った時には、子どもたちから、「給食のキャベツが、いつもよりおいしかった!」「キャベツっていろいろな料理に使われているんだね。」という声が聞かれました。「子どもたちは毎日の給食を好き嫌いしないで食べている。」の項目では、児童・保護者・教職員ともに前期よりも数値が高くなっており、食育推進事業の成果を感じます。食材に触れたり、作っている人の話を聞いたりすることは、子どもたちにとって大変よい経験になります。食育推進事業は今年度で終わりますが、今年度の取組を今後に生かしていきたいと思います。



◎学習関連について 設問13・14・16

「授業が楽しい」では、児童・保護者・教職員ともに高い割合となっています。児童・教職員においては、前期よりも数値が上がりました。「子どもたちは、授業(学習したこと)が分かっている」の項目においても、同様に数値が高くなっています。4月より各クラスで学びを積み上げてきたことで、子どもたちの「分かった!できた!」「楽しかった!」が増えてきたことを感じます。今後も、子どもたちのたちの興味・関心を引き出すような工夫やより分かりやすくなる手立てを考え、授業を行っていきます。また、宿題やチャレンジノートの取組においても、前期より数値が上がっています。ご家庭でも、お子様に声を掛けたり、見取ったりしてくださっているので、前向きに取り組めている割合が高くなっているのだと思います。いつもありがとうございます。



改善したいあらわれ

◎清掃について 設問11

「自分たちの学校がきれいになるよう、進んでそうじをしている」の項目については高い割合を示していますが、児童・保護者の数値が前期よりも下がっています。子どもたちは、学校生活の清掃の時間において、決められた場所を一生懸命に清掃しています。しかし、時間や場所が決められていなくても、自分が使う場所を進んできれいにしようという気持ちが高まってくるとよりよいと感じます。運動場のごみを進んで拾ってくる素敵な姿もたくさん見られます。清掃の時間だけでなく、学校生活の様々な場面を通して環境を整える大切さを伝えていきたいと思います。ご家庭でも、お子様が自分がつかった場所をきれいにできていたら褒めてあげてください。



心掛けていきたいこと

◎話したり聞いたりすることについて 設問15

「子どもたちは、自分の考えを友達に分かりやすく話したり、友達の考えを最後まで聞いたりしている。」の項目では、児童の数値が前期よりも少し下がり、保護者の数値も低くなっています。自分の考えを伝えたり、相手の話をしっかりと聞いたりすることは、授業や学校生活の中でとても大切なことです。授業では、全体の発表の場だけでなく、どの子も発言できるようにペアやグループでの話し合い活動を取り入れ、話す・聞く力が育つよう支援しています。学校生活においても、自分の考えを上手に伝えたり、相手の話を聞いて気持ちを分かちあうことは、友達との円滑なコミュニケーションにつながります。話す・聞く力が育つように、より一層、指導の工夫や授業改善を進めていきます。